

JGA

Japan Generic
Medicines Association

NEWS

2025年 令和7年

3月 | 203号

C O N T E N T S



トピックス

- 01 後発品基金、企業は歓迎 薬価・薬事に課題の声
株式会社じほう 報道局 海老原 岳 氏
- 03 GE薬協産業構造あり方研究会・安定供給責任者会議
第一回目の実施報告



会員会社だより

- 04 株式会社バイオメディクス



委員会活動報告

- 05 コードオブプラクティス (COP) 委員会研修会
実施報告
コードオブプラクティス委員会



賛助会員から

- 07 株式会社パウレック



ちょっと教えて 診療報酬・調剤報酬

- 09 番外編 記事ランキング

information

お知らせ

- 10 自民党「第21回ジェネリック医薬品の将来を
考える会」について
- 11 (京都府) 令和6年度第2回後発医薬品安心使用に
係る意見交換会での講演について



COP 便り

- 12 医師会からの学術講演会共催依頼



医療制度関連情報 TOPICS

- 13 医療制度関連情報TOPICS

- 14 活動案内

- 15 編集後記

後発品基金、企業は歓迎 薬価・薬事に課題の声

株式会社じほう
報道局 海老沢 岳 氏

厚生労働省が創設する「後発医薬品製造基盤整備基金」に対し、後発品企業の関係者から賛同の声が上がっている。業界が特に期待しているのは、設備投資に対する補助金だ。ただ、実際に受ける恩恵の大きさは、企業の事業規模によって異なりそう。また後発品の業界再編に向けた課題も浮かび上がってきた。

日本ジェネリック製薬協会会長の川俣知己氏は自身が社長を務める日新製薬の立場に立って「各社が得意とする品目を統合することで、原薬のバイイングパワーが増し、調達コストの削減と採算の改善につながる」と話す。また品目統合の際に、自社が他社のどちらかが得意な品目の製造を請け負えば、もう一方の製造余力を確保することができ、業界全体の生産効率向上が期待できると指摘する。

一方、大手後発品企業の関係者は、「既に大きな市場シェアを持っているため、品目統合の受け皿になったとしても、さほど原薬調達コストの削減効果は受けられない」と指摘。ただ「品目統合の受け皿となり、製造ラインを増設する際には基金の支援を受けられる点ありがたい。国の方針に従い、増産に積極的に取り組み、再編に協力していく」と述べた。

●品目絞り込みが本格化

医療用医薬品の供給不足問題が長引いている。その要因の一つとして、後発品業界における「少量多品目生産」による生産効率の低下が指摘されてきた。現在は多くの企業が同じ品目を個別に生産しており、生産ラインの非効率性が問題視されている。

この問題を解決するため、厚労省は企業間の品目統合や事業再編を促す施策を打ち出した。具体的には、同じ成分の医薬品を製造販売している企業間で品目を集約し、統合先企業の製造設備の拡充費用の一部を補助する。また企業買収時に行う投資リスクの調査・分析費用も補助対象に含めることで、円滑な再編を支援する。

厚労省はこの政策に、2024年度補正予算事業で取り組む。基金の創設に先立ち、試験的に実施する方針で2月25日には事業への参加を募集する公募も始まった。事業の進捗を踏まえながら、26年度の概算要求に基金の予算規模を盛り込む。

また厚労省は業界再編の目安として、「1成分当たり5品目」を掲げてきた。25年度薬価改定では、同一成分内で市場シェアが3%以下の品目がある場合に、後発品の企業指標で減算される仕組みが導入される予定であり、業界は厚労省が本格的に品目の絞り込みを進めるとみている。

●深刻な人手不足

再編を進める上で大きな課題の一つに、人手不足がある。日本全体で賃上げが進む中、他業種との人材獲得競争が激化しており、新たに製造ラインを増やしても、十分な人員を確保するのが困難な状況だ。

日新製薬は山形県天童市に生産能力10億錠の長岡工場を竣工するが、人手不足のため、既存工場の稼働率を下げて、工員を新工場に派遣することで稼働に備えているという。また大手後発品企業の関係者も、「年間数%の従業員が離職するため、採用にはいつも苦労している」と明かす。工場の自動化や省人化対応にも限界があるため、増産に取り組んでいる品目に限って、薬価を引き上げるなどの対応を求めている。

●厚労省、規制面でも支援

業界関係者からは、業界再編促進策に伴い、薬事上の手続きを円滑に進める措置を求める声も多く上がっている。増産に伴い製造設備を変更したり、使用する原薬を切り替えたりする際に、迅速に一部変更承認申請が認められるよう求めている。

こうした要望を踏まえ、厚労省は、後発品の品目統合にかかる薬事手続きの標準的事務処理期間を、通常の6カ月から1カ月半に短縮する特例措置を設けた。4月1日の申請分から適用する。

さらに2月17日の「医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議」で、後発医薬品企業同士が品目統合の際の交渉プロセスで独占禁止法に違反しない事例集をまとめたことを報告した。

●後発品業界再編は進むか

事業再編を進める企業に国が資金支援する補正予算の公募が始まったほか、薬事規制、統合に伴う独禁法の回避法など厚労省は矢継ぎ早に環境整備を進めている。厚労省からは少量多品目生産の是正と業界再編を貫徹させたい意志が伝わってくる。こうした支援を踏まえ、後発品各社は、自社の強みを生かしつつ、業界再編にどう取り組むかが問われている。

GE薬協産業構造あり方研究会・安定供給責任者会議 第一回目の実施報告

2025年2月21日（金）GE薬協産業構造あり方研究会の第一回目が実施されました。

研究会には、GE薬協会員企業から20名のメンバー登録を頂いております。また外部有識者の先生にも研究会にご参加頂いております。

ジェネリック医薬品産業を取り巻く環境も年々変化しています。こうした環境下において、持続可能なジェネリック医薬品企業のあり方とは何かを研究し、会員企業各社の情報共有と、外部有識者の方々からのご意見を伺い、経営方針の変更、見直しの判断をするための情報提供を目標とした会議体の実施を考えております。研究会では今後も議論を重ね、研究会としての報告書を取りまとめる予定です。

また2025年3月5日（水）安定供給責任者会議の第一回目が実施されました。

当会議は昨年12月、今年1月の2回の準備会合で、設置規約や安定供給に向けた各社好事例の共有方法、供給不安懸念事象発生時のスキームに関する検討などを行いました。実効性の伴う運用にしていくための議論を重ねて、今回の会議第一回目に繋がっております。

第一回目の会議では、議長の選出や供給事案発生時の届出と共有の方法を確認し、実運用に向けた最終の確認がなされました。

GE薬協産業構造あり方研究会・安定供給責任者会議共に4月以降も継続実施が予定されております。当協会の活動に対しまして引き続きご協力の程よろしくお願い致します。



株式会社バイオメディクス

<https://biomedix.co.jp/>

設 立 年 : 1991年 (平成3年)

代表取締役社長 : 佐藤 仁彦

本 社 所 在 地 : 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティ B棟

従 業 員 数 : 20名 (2025年1月末現在)

【企業理念】

人々の健康を願い豊かな社会に貢献する

株式会社バイオメディクスは、創業以来「生活の質」の改善と向上を使命とし、医療用医薬品、OTC医薬品、健康食品などを提供してまいりました。

私たちは、医薬品が人々の健康と命を支える重要な役割を担っていることを強く認識し、より確かな供給体制の構築に取り組んでいます。

バイオメディクスが属するグループの中核企業である富士カプセル株式会社は、日本で最初に誕生したソフトカプセルメーカーとして、長年にわたり培われた技術と知見を有しています。医薬品ソフトカプセル剤のパイオニアとして、確固たる品質と技術を誇り、その蓄積されたノウハウはグループ全体の強みとなっています。

ソフトカプセル剤を製造できるメーカーは国内外でも限られており、高度な技術と専門設備が不可欠です。私たちは、その数少ない企業の一つとして、高品質なソフトカプセル剤を安定的に供給する責務を担っています。この技術と供給力こそが、医薬品業界において確かな価値を生み出す原動力です。

現在、ジェネリック医薬品産業は、安定供給の維持、品質管理の強化、さらには医療コストの適正化といった多くの課題に直面しています。これらの課題に対応し、持続可能な医療環境を支えるためには、製造・供給体制の強化に加え、技術革新と品質保証のさらなる向上が不可欠です。

長年培ってきた製剤技術とグループのシナジーを最大限に活かし、高品質な医薬品の安定供給に努めるとともに、業界全体の信頼性向上にも貢献してまいります。変化する医療環境に適応しながら、より安全で確かな医薬品を提供し、人々の健康と医療の未来を支えてまいります。

コードオブプラクティス (COP) 委員会研修会 実施報告

開催日時：令和7年3月6日（木）14:00～16:00

現地会場：CIVI研修センター日本橋

開催形式：対面＋オンライン

参加者：約300名（29社）

COP委員会の年間施策の一つとして、販売情報提供活動対応委員会との共催により、COP委員会研修会をハイブリッド形式で開催し、会員会社30社のうち29社から約300名の皆様（COP担当者、販売情報提供活動ガイドライン監督部門担当者、資材作成部門担当者等）に参加いただきました。

冒頭、篠原委員長より、第7回販売情報提供活動に関するアンケートの結果報告がありました。販売情報提供活動管理部門における効果的な取り組み、教育研修、モニタリング、不適切事例の対応、販売情報提供活動ガイドラインに関するQ&A（その4）発出後の対応等について、会員各社の実態を報告いただきました。



次いで、2社の会員発表がありました。

沢井製薬株式会社 販売情報提供活動管理室 和田 光市氏からは、「販売情報提供活動に関する当社での取り組み」と題して、自社主催・共催におけるフォーミュラリをテーマとした講演会実施に関する取り組み、フォーミュラリ講演会実施に関する指針の作成について報告いただきました。



株式会社陽進堂 販売情報提供活動管理室 五島 直民氏からは、「販売情報提供活動に係る当社の取り組み」～教育・管理の視点より～と題して、活動記録のモニターや社内教育の具体例を提示いただくとともに、いかに販売情報提供活動ガイドラインを自分事として理解する風土を醸成するかが今後の課題であることを報告いただきました。



講演では、MIフォース株式会社 事業開発本部 広告審査部長 仲川 智幸氏より、「販売情報提供活動 GL 対応支援における受託会社の実践事例」と題して、資材審査業務における指摘コメント事例、講演会スライド審査における論点（論文未発表データの取扱い、有効性と安全性のバランス等）、講演会モニタリング、業務記録モニタリング等についてお話いただきました。



今回の研修会が契機となり、販売情報提供活動のあり方を見直す機会となれば幸いです。販売情報提供活動ガイドラインの遵守および医療関係者が必要とする情報の適時適切な提供をお願い致します。



パウレックの粉粒体技術で 実現する製剤開発と工業化支援

創業70周年をむかえた粉粒体装置の総合メーカーである株式会社パウレック(兵庫県伊丹市、代表取締役社長 長谷川 浩司)は、医薬品、食品、電子・電池分野、化成品分野に向けて、4つのキーテクノロジー“ハード”“ソフト”“エンジニアリング”“計装制御”を融合させ、粉粒体技術のワンストップソリューションプロバイダーとして、最適なソリューションをご提供しております。

当社は、粉粒体技術に関するお客様へのニーズに対応するため、2018年にイノベーションセンター(以下IC)を開設しました。ICには、固形製剤製造工程のほぼすべてを網羅するバッチ装置に加え、原材料供給から混合・造粒・打錠・錠剤コーティングまでをカバーする連続生産装置をテスト機として常備しております。

ICが入る本社外観をFig.1に示します。



Fig.1 本社外観

ICでは年間800件以上のお客様のテストをお受けし、高度な粉粒体技術を有する当社の研究開発本部の研究員が対応させていただいております。お客様の目標も様々であり、製品品質、生産効率やスケールアップ等のご要求も多岐にわたります。当社の研究員が目標を満たすために処方、前処理方法、そして操作条件など可能な範囲でご提案させていただき、お客様の目標を実現するべく対応させていただいております。最近では製品開発をICで行い、研究サイトとしてご使用されたいというお客様の要望にもお応えするために、装置や分析機器を一定期間貸与させていただく「レンタルラボ」のサービスも承っており、非常に好評です。



レンタルラボ機器として、数百グラムの少量の原料で造粒からコーティングまでの機器を準備させていただいております。さらには、粉体加工にとどまらず、粉体物性や品質を確認することができる分析機器も準備し、レンタル期間中に条件を最適化するための試作が可能です。最近では非破壊測定である近赤外分析装置による分光法を用いたいというご要望もございます。このようなお客様には物性の吸収スペクトルの波長選択や多変量解析技術についてもレクチャーさせていただき、工程管理への適用についてもご検討いただけるよう取り組んでおります。当社ICのレンタルラボの一例をFig.2に示します。



Fig.2 レンタルラボの様子

当社ではお客様のテストに留まらず、錠剤の服用性向上に向けたアプリケーション開発もIC内で行っております。

核粒子に薬物をレイヤリング後にコーティングを行うことや(Fig.3)、原薬にコーティングをすることで、本原薬のマイクロOD錠の製造を行いました (Fig.4) コーティングされた原薬は連続直打法を採用して錠剤試作しました(Fig.4)。原薬にコーティングをすることで原薬の流動性が改善され、直打による製造を可能とし、さらには流動化剤が不要であることから剤形の小型化を実現した事例です。

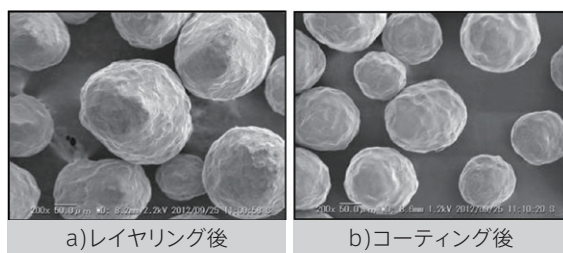


Fig.3 コーティング前後SEM写真



Fig.4 マイクロODT

最後になりますが、当社ではソフトサポートとして、処方開発、スケールアップ検討、操作条件の最適化検討などの粉粒体研究や、電池セミナー、メンテナンスセミナーといったセミナーの開催、全国の都道府県薬務課研究会、日本CMO協会セミナー等各研究機関の研修に加え、ICの設備を使った粉体技術の研修を積極的に行っており、お客様の製品開発・工程改善のイノベーションや若手技術者の育成に貢献しております。

当社のICおよびレンタルラボをぜひご活用いただければ幸いです。



ちょっと教えて 診療報酬・調剤報酬

2025年
令和7年 3月 203号

これまで、診療報酬や調剤報酬の、ちょっと聞きたいようなトピックスを Q&A 形式でお伝えしてきました。今号では、2023 年 4 月からスタートした本コンテンツについて、2024 年 11 月号記事までの月平均の閲覧数ランキングを紹介します。

順位	タイトル	閲覧数 /月	掲載号
1	「普通錠が欠品したので OD 錠に変更したいが 疑義照会は必要か？」	851	2023 年 11 月
2	選定療養の自己負担額の計算方法	763	2024 年 8 月
3	長期収載品を処方する際の処方箋への記載方法について	719	2024 年 7 月
4	長期収載品の選定療養での必要な対応について	640	2024 年 5 月
5	抗菌薬適正使用体制加算と Access 抗菌薬について	335	2024 年 4 月
6	シロップからドライシロップへの変更調剤	217	2023 年 8 月
7	選定療養対象の除外基準について	119	2024 年 6 月
8	公費負担医療と選定療養について	106	2024 年 10 月
9	往診と訪問診療の違い	66	2024 年 11 月
10	基礎的医薬品の変更調剤	45	2023 年 9 月
11	特定薬剤管理指導加算 3 について	45	2024 年 4 月
12	使用期間を過ぎた処方箋について	41	2024 年 2 月
13	自家製剤加算について	35	2024 年 9 月
14	在宅医療で調剤できる注射剤	30	2023 年 6 月
15	診療報酬における加算等の算定対象になるのはいつから？	23	2023 年 12 月
16	内服薬及び外用薬の投与量について～長期の旅行等特殊の事情がある場合～	20	2023 年 7 月
17	変更調剤・一般名処方時の保険医療機関への情報提供義務について	19	2024 年 1 月
18	多剤投与適正化での加算	18	2023 年 10 月
19	自家製剤加算	12	2023 年 5 月
20	服用薬剤調整支援料 2	11	2023 年 4 月

昨今の供給状況の背景もあり、製剤の変更に関する貴記事がトップでした。掲載から時間は経っていますが、現在でも一定の閲覧をいただいています。また、やはり昨年スタートしました選定療養の記事も、注目が高いものということが分かりました。

今後も、タイムリーなものや、今だけちょっと聞きたいような内容を検討してまいりますので、閲覧いただけますと幸いです。

自民党「第21回ジェネリック医薬品の 将来を考える会」について

2025年2月27日（木）、自民党の議員連盟「第21回ジェネリック医薬品の将来を考える会」（会長：上川 陽子衆議院議員）が開催されました。

今回は、厚生労働省から「医療用医薬品の安定供給について」に基づいて、その取り組みについて説明されました。GE 薬協にも発言の機会が与えられ「日本ジェネリック製薬協会の新たな取組み」についてご説明いたしました。

出席議員からは次のような発言がありました。

- 依然として供給不安が続いている。特に地方の個人薬局、診療所において深刻である。
- 供給不安解消のための支援事業、業界再編のための基金に期待しているが、実効性のあるものにしてもらわないといけない。
- 増産してもらって備蓄する事も必要で、それへの国の支援も必要ではないか。
- 建設業界は仕事が多すぎて、企業再編のための工場建設などはスピード感を持って進めないとなかなか受注してもらえない。
- 製薬業界の人材確保が困難になりつつあり、今後すすめられる企業統廃合で出た人材が他業界へ流出しないような対策が必要。

これらの意見に対して、厚生労働省から説明がなされ、GE 薬協からも発言させていただきました。



左から、国光 あやの 事務局次長、上川 陽子 会長

（取材：日本ジェネリック製薬協会 広報委員会）

(京都府)令和6年度第2回 後発医薬品安心使用に係る意見交換会での講演について

開催日時：2025年2月28日（金）15:00～17:00

形 式：対面＋オンライン

演 者：三宅 真二 氏（日本ジェネリック製薬協会 政策委員会渉外グループ）

概 要：「日本ジェネリック製薬協会の取組み」として、医薬品供給状況と供給不安に対する日本ジェネリック製薬協会の取組みを説明。

●説明実施後に頂いたご意見等

医薬品の供給不足についてコメントを頂いた。



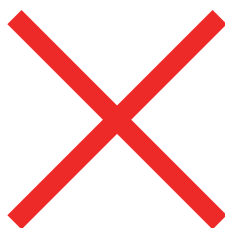
医師会からの学術講演会共催依頼



医師会から自社医薬品に関連した学術講演会共催の依頼がありました。会場となる市内のホテル、講演テーマ、講師等については既に医師会が決めており、懇親会の開催も依頼されています。当社には、会場費、講師謝礼、交通費、懇親会費を負担してほしいとのこと。このような共催依頼に応じてもよいでしょうか。



回答



講演テーマ、講師等が事前に決められており、共催会合としての要件が整っていないので、要請に応じることはできません。

(COP便り：バックナンバー)

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/cop.html>



これまで、「診療報酬便り」として、ジェネリック医薬品に関わる事項を中心に、診療報酬や調剤報酬関連の通知などをお伝えしてまいりましたが、今号よりコンテンツ名を「医療制度関連情報TOPICS」と改め、これまでの診療報酬や調剤報酬に加えて周辺情報を掲載してまいります。

・後発医薬品の安定供給等の実現に向けた産業構造改革のための 独占禁止法関係事例集

掲載ページ 後発医薬品産業の構造改革に伴う独占禁止法関係相談窓口 | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50524.html

・医療用医薬品の品目統合等に伴う製造方法等の変更手続に係る手続の迅速化について

掲載ページ 医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議（第20回）資料 | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_51428.html

・令和7年度薬価改定関連情報

掲載ページ 令和7年度薬価改定について | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00063.html

・令和7年4月1日以降の長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養の対象医薬品について

掲載ページ 後発医薬品のある先発医薬品（長期収載品）の選定療養について | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_39830.html

・入院時の食費の基準、特定薬剤管理指導加算、医療DXに係る診療報酬上の評価など、令和6年4月以降改正分の告示など情報について（令和7年4月1日から適用分）

掲載ページ 令和6年度診療報酬改定について（令和6年4月以降改正について） | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00060.html



活動案内

2025年 3月 203号
令和7年

日誌

開催日	委員会	開催場所	WEB併用
2月	3日 知的財産委員会	WEB開催のみ	
	4日 政策委員会政策実務委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
	6日 薬価委員会(幹事会)	〃	○
	薬価委員会	〃	○
	7日 総務委員会	〃	○
	12日 流通適正化委員会	〃	○
	13日 信頼性向上PJ常任委員会	WEB開催のみ	
	18日 薬価委員会(幹事会)	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
	19日 薬制委員会(幹事会)	新大阪丸ビル会議室	○
	経営層向けコンプライアンス研修会	CIVI研修センター日本橋会議室	○
	広報委員会コミュニケーション広報戦略部会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
	20日 正副会長会・理事会	〃	○
	21日 環境委員会	CIVI研修センター日本橋会議室	○
	GE薬協産業構造あり方研究会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
	25日 広報委員会ニュース・講演部会	〃	○
	26日 安全性委員会(幹事会)	〃	○
	27日 C O P 委員会	〃	○
	28日 くすり相談委員会全体研修会	CIVI研修センター日本橋会議室	○

今月の予定

開催日	委員会	開催場所	WEB併用
3月	3日 知的財産委員会	WEB開催のみ	
	4日 政策委員会政策実務委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
	品質委員会教育研修部会	東京理科大学	○
	5日 安定供給責任者会議	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
	6日 薬価委員会(幹事会)	〃	○
	C O P 委員会研修会	〃	○
	11日 総務委員会	〃	○
	12日 GE薬協産業構造あり方研究会	〃	○
	信頼性向上PJ(MR教育研修検討チーム)	〃	○
	13日 信頼性向上PJ常任委員会	〃	○
	14日 品質委員会(幹事会)	〃	○
	17日 広報委員会ニュース・講演部会	〃	○
	国際委員会	WEB開催のみ	
	18日 薬価委員会(幹事会)	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
	薬価委員会	〃	○
	薬事関連委員連絡会	〃	○
	19日 正副会長会・理事会	CIVI研修センター日本橋会議室	○
	臨時総会	〃	○
	21日 薬制委員会(幹事会)	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
	薬制委員会全体会議	〃	○
	製剤研究会	〃	○
	24日 くすり相談委員会	〃	○
	25日 広報委員会広報戦略部会	〃	○
	26日 安全性委員会(幹事会)	〃	○
	安全性委員会全体会議	〃	○



ご趣味は？

「私の趣味は着物です。四季折々に合わせ、普段着から冠婚葬祭まで全て着物で賄えるように揃えています。もちろん自分で着付けることも出来ますよ。」

こう聞くと、「お嬢様だ」、「お金持ちだ」、「お花かお茶を習ってるのかな」、「清楚な人なんだ」、そんなイメージを持たれるでしょう。これら全て、私自身が言われた経験があります。実際は一般的なサラリーマン家庭に育ち、ごくごく平均的な社会人人生で、お稽古事とは縁遠く、また誠に残念なことに、直接私を知る方に「清楚系」と言って頂いた経験也没有。

触れる機会の少ない方にとっての着物は、“高級なお召し物”、もしくは七五三や成人式といった“一生に一度、着る物”といった認識の方が多くかと思えます。実際にはフリマアプリやリサイクルショップなどで一着千円から手に入り、洋服と変わらない値段で一着揃えることが可能です。もちろんリサイクル市場の値段はピンキリです。高い物はリサイクルでも何十万というお値段が付く物もあります。有名な作家さんがデザインした物、特定のブランドの物、それらは洋服と同じく高い価値があります。しかし、一概に言えるのは一度仕立ててしまった着物は袖を通したかどうかに関わらず各段に安くなることでしょう。なぜなら、着物は“一人一人の体形に合わせ誂える(あつらえる)物”だからです。反物(生地)から仕立ててしまった瞬間、それは“その人専用のお召し物”になる。だからこそ、着物の買取価格は十分の一どころではなく、“はした金”にしかならないことが多いのです。

平成になり、着物は誂える物から、洋服と同じようにS、M、Lといった標準サイズ展開がされるようになりました。これはプレタ着物と呼ばれ、誂え着物とは一線を画し、着物を非常にお手頃にしたと思います。巻物状の反物からの生地選び、採寸、仕立てといった手間も時間も必要だった着物が、洋服と同じようにハンガーに掛かった状態で選べるようになったのです。とは言え、着物最大の難点は価格やサイズではなく、“着付け” だろうと思います。着付けが出来ないために興味はあっても買わない方も多いのではないのでしょうか。あくまで実感としてですが、私の祖母世代(80歳以上)は着付けが出来て当たり前ですが、親世代(60歳代)では既にそうではないように思います。“平面の着物を立体的に着付ける”これは私自身も悩まされており、上級者とはまだまだ言えません。特に、私が嗜む着物はリサイクル品が多く、サイズもまちまち、丈や袖(ゆき)が短いのは当たり前、アンティーク着物なら多少の汚れや痛みはご愛嬌♪といった物ばかりで、誂え物とは真逆の“着物に合わせて”着付けなければならず、日々苦戦しています。

こんな話をすると、やはり着物はハードルが高いと思われるかもしれませんが、同じく平成になり、帯についても進歩が起きました。いわゆるワンタッチ帯、作り付け帯と言われる、既に形が出来上がった帯が登場したことです。これらの登場により帯を結べなくても簡単に着られるようになりました。特に



浴衣はぐっと身近になり、夏になると全国チェーンの大手洋服店や商業施設で見かけることも多いのではないのでしょうか？このように、プレタ着物や作り付け帯の登場で着物へのハードルは大幅に下がったように思います。

着物の進化は続き、最近ではワンピース型の浴衣、マジックテープやジッパーでまるで洋装のように切られる着物など、着付けを全く知らなくても楽しめるようになってきています。ただ、それらはまだ出始めたばかりで種類は多くなく、冒頭で紹介したリサイクル市場では伝統的な型の着物がほとんどであるのが現状です。

ここまで色々書いてきましたが、私が最も伝えたいことは、「着物はリーズナブルに楽しめる趣味だ」ということです。皆さんが思っている以上にお手軽に、お手頃に楽しめるのです。着物、帯、帯留、帯締め、バッグ、足袋、草履・・・組み合わせは無限大、個性的な着こなしから、伝統的な着こなしまで幅広い自己実現が可能なのです。

「着物がもっともっと多くの人に親しんでもらい、一生に一度の特別な物ではなく当たり前の日常になったらいいな」とひっそりと願っております。



個性溢れるお気に入りの帯



帯留めコレクション

(K.S.)